

標識再捕時間に基づく死亡係数の推定、最近における理論展開と実際の解析上の問題

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 北田, 修一
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014351

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



標識再捕時間に基づく死亡係数の推定，最近における理論展開と実際の解析上の問題

北田修一

1 回放流の標識放流実験から得られた再捕データに基づいて死亡係数を推定する理論を統計学の立場から整理するとともに，解析手法をレビューした。また，データ解析に当たって直面する問題についても検討した。主な内容は以下のとおりである。

1 死亡係数の定義 2 加重最小二乗推定 3 全尤度および部分尤度による推定 4 実験期間の打ち切りと仮定の検証 5 データのまとめの影響 6 解析手法の選択 7 死亡係数の変化とその推定

栽培技研, 18(2), 145-161 (1989)